



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

専門：考古（旧石器時代～古代）

考古分野は、さきたま史跡の博物館、嵐山史跡の博物館、歴史と民俗の博物館、文化財・博物館課での勤務など、活躍する職場が多い分野です。

さきたま史跡の博物館では埼玉古墳群の発掘調査、調査報告書の作成、古墳の整備、考古資料を使った企画展の開催、本物の埴輪を持ち込んでの出張授業、他県と連携した共同研究など、日々考古学さんまの仕事をしています。

また、歴史と民俗の博物館や嵐山史跡の博物館でも考古分野の企画展を頻繁に開催しています。文化財・博物館課では史跡・埋蔵文化財担当として、史跡の保護や埋蔵文化財の確認調査など文化財保護のための仕事をしています。

「埼玉古墳群の調査をしたい！」「自分の研究テーマで企画展を開催したい！」「考古学の楽しさを子どもたちに伝えたい！」「文化財を守り、その魅力を発信したい！」という思いのある方、是非一緒に働きましょう！



埼玉古墳群ガイドツアー



埼玉古墳群の発掘調査



展示作業

専門：日本美術史（彫刻）

日本美術史の学芸員は、近世以前の日本美術に関連する展示、調査研究、収集や保存管理、教育普及などの業務を行います。歴史と民俗の博物館や文化財・博物館課が主な配属先となります。

歴史と民俗の博物館には常設の美術展示室があり、年間に6テーマほどの展示を実施しています。またそれとは別に日本美術に関する展覧会も行っています。展示室に作品を置き展示空間を作ることは学芸員ならではの仕事で、特に日本美術史の学芸員には展示を企画する機会が多くあります。文化財・博物館課では、文化財の指定や保存、それに伴う調査などが主な業務です。博物館と文化財行政のいずれも、日本美術史の学芸員には作品の取扱技術や知識、さらに保存状態などを見極める判断力が求められます。

学芸業務においては、他分野の学芸員とも様々な場面でそれぞれの得意分野を生かし、助け合って仕事をします。それがお互いの仕事の幅を広げることやスキルアップにつながっています。彫刻という専門分野を核としつつ、日本美術史全般、さらに埼玉県の実史・文化全体についても広く関心を持ってみてください。みなさんが埼玉県の学芸員として個性を生かし、活躍することを期待しています。

<歴史と民俗の博物館の様子>



特別展での展示解説



資料調査



美術展示室